

宝くじの財源を地域づくりに生かす コミュニティ助成事業で備品を整備

自治振興課自治振興係 ☎0824-73-1209

市内の自治振興区や自治会などが、宝くじを財源とするコミュニティ助成事業の採択を受けて、備品を整備しました。

この事業は、地域コミュニティ活動の促進と、その健全な発展を図ることを目的に、財団法人自治総合センターが行う事業で、宝くじを財源に一定の基準を設けて助成を行うものです。

本年度助成を受けたそれぞれの地域では、地域活動の基盤の整備が図られ、地域のコミュニティづくりに役立てられています。



整備した音響機器などを活用して盆踊り(久代自治振興区)

実施団体名	整備備品	事業費(円)	助成金(円)
上高自治振興区(高野)	デジタル複合機、ノートパソコン、デジタルカメラ	1,050,800	1,000,000
久代自治振興区(東城)	アルミやぐらステージ、移動用PAアンプ、移動用PAスピーカー、小型発電機、デジタルカメラ	2,446,485	2,400,000
宮内自治会(口和)	音響システム一式、簡易テント、座卓、ガスオープン、ファンヒーター	2,378,565	2,300,000
合計		5,875,850	5,700,000



私にもできる 獣害対策

シリーズ



林業振興課 ☎0824-73-1124

● 獣害・守れる集落の作り方

その10 隠れた獣害の話

まだまだ寒い日が続きますね。

吹雪の日は、コタツでミカンでも食べながら獣害の連載なんか読み返してみませんか？

さて、今回は知っておきたい人や住居への獣害のお話です。

あつてはならない人身被害

イノシシやクマの人身被害、サルに噛まれたなんて被害もありました。人里近くで起きる被害には必ず伏線があります。集落への餌付けです。

収穫もしないカキやクリ、養蚕の名残のクワの大木。廃屋の庭のビワやヤマモモ。こうした山にはない味を覚えたクマやイノシシは餌場の近くで暮らし始めます。

注意深く観察すれば足跡やふん

ど、住居の周辺で、いわば人身被害の前兆が見えるはずですよ。
人に駆け寄って噛み付くのは、飼われていたサルだけです。

痛い、かゆいで済まない被害

最近、溪流釣りの釣り人が敬遠する河川が増えています。原因は木の枝や足元から忍び寄るヤマビルです。

シカが増えるとヒルが、イノシシが増えるとダニが増えます。いずれも人間もやられます。

毛の抜けたタヌキは小さなダニが原因の疥癬病。あなたの愛犬にも伝染します。

家の前の田や畑に捨てた生ごみを何者かが食い荒らしているなら、それが被害の前兆ですよ。

放置果樹や生ごみを使った餌付けが、ハクビシン、アライグマなどの住居侵入を引き起こし、天井の張り替えなんて事態になっても知らないからね。

(近畿中国四国農業研究センター井上 雅史)

獣害被害は

